

| 方剂名                | 効能  | 生薬組成  |
|--------------------|---|---|
| 書籍                 | 主治および証  | 病機 方意                                       |
| <b>治風剂 平熄内風剂 6</b> |   |   |
| よくかんさん<br>抑肝散      | 平肝熄風・疏肝健脾   | 柴胡・甘草各 1.5g・当帰・川芎・白朮・茯苓・釣藤鈎各 3g<br>水煎し服用する。 |
| 保嬰撮要               | <p>主治は、肝鬱化風のけいねん、歯ぎしり、いらいら、不眠など。</p> <p>平肝熄風の釣藤鈎、疏肝解鬱の柴胡・川芎、柔肝和血の当帰、健脾の白朮・茯苓・甘草からなり、平肝熄風・疏肝解鬱を目的にして組成されている。健脾薬の配合は、脾の健運を通じて肝の陰血を補充し、柔肝する目的である。</p> <p>本方（抑肝散）は、元来乳幼児のひきつけ、むずがり、夜泣き、歯ぎしりなどに用いられたものであり、方後に「子母同服」とあるところから、母親の影響が大きいことが分かる。成人が服用する場合には、用量を多くする必要がある。</p> <p>日本での保険適応効能、効果<br/>虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症；神経症、不眠症、小児夜泣き、小児疳症</p> |   |
| 抑肝散加陳皮半夏           | 抑肝散 十小半夏湯   |   |
| 日本経験方              | <p>本方（抑肝散加陳皮半夏）は、抑肝散に小半夏湯を配合したものであり、抑肝散証に、肝胃不和の悪心、嘔吐、あるいは痰飲を伴う場合に用いる。</p> <p>日本での保険適応効能、効果<br/>虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症；神経症、不眠症、小児夜泣き、小児疳症</p>  |   |